

ご挨拶

大阪歯科大学 理事長・学長 川添 堯彬

本日は全国のどちらの大学も超多忙の時期にもかかわらず、このように大阪までお運び頂きましたこと、また、この本日のこの催しを本学の施設を使っていただくことになりましたこと等々、大変光栄に存じている次第でございます。

私どもの大学も昨年の平成 26 年度のトライアルを、九州歯科大学とともに受けまして、昨年の公開シンポジウムは小倉でやって頂いた訳であります。その時にも少し、感想を述べさせていただきましたが、その後、今日まで、本学の学内的に言いましても、その余韻がかなり全学的に病院の方々の自己点検・自己評価への活動が活発になったような気がいたして今日に至っております。もう一つは、盛んに学内で行われておりますFDの活動、FDセミナーを始めとして非常に出席率が良くなってまいりました。先程、寺門課長のお話、あるいは江藤先生のお話にもありますように、個人的には是非この医科と歯科という方向を国際的な制度の基準を保持する組織を目指して、是非続けていただきたい。その受審を受ける側のメリット、あるいはそれを行って、特にこういった公開シンポジウムで発表するという、この2点は相互にとって非常に意義が高いと私は感じている次第でございます。今後も、いろいろと財政その他予算などに、ハードルがあるとは思いますが、今やらないと、ずいぶん医科にも後れをとるのではないかと思う次第でございます。どうぞこれから貴重な議論が出されることを期待しておる次第でございます。どうもありがとうございました。